



# 建築物総合環境計画概要書 新築

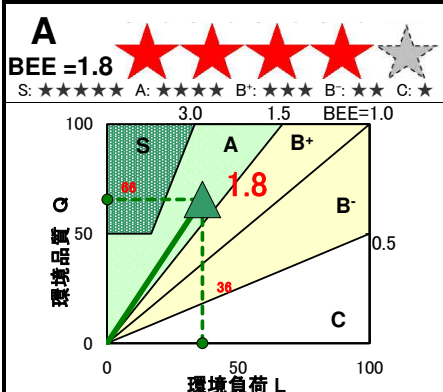
■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2)

## 1-1 建物概要

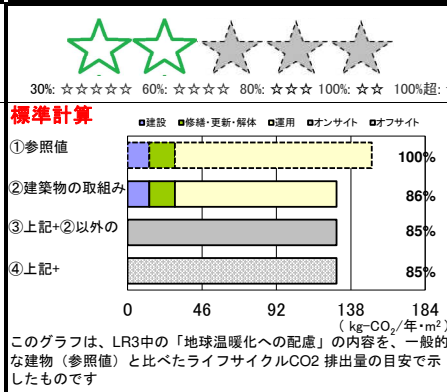
建物名称	(仮称)中之島4丁目未来医療国際拠点開発 新築工事		
建設地	北区中之島4丁目		
建築用途	事務所、病院、診療所、集会所(物販店舗・展示場・飲食店)		
建築主			
設計者			
敷地面積	8,600.00	m <sup>2</sup>	
建築面積	5,162.24	m <sup>2</sup>	
延床面積	54,987.02	m <sup>2</sup>	
構造/階数	S造	/	地上17階
完了年(予定)	2024年1月		

## 1-2 外観

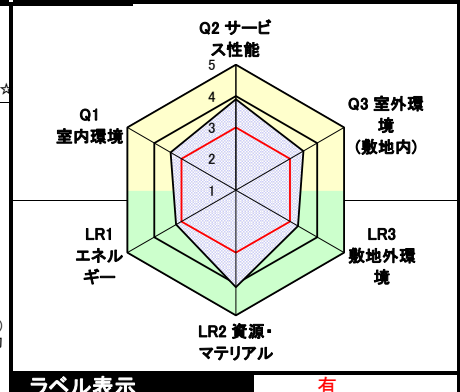
## 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



## 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

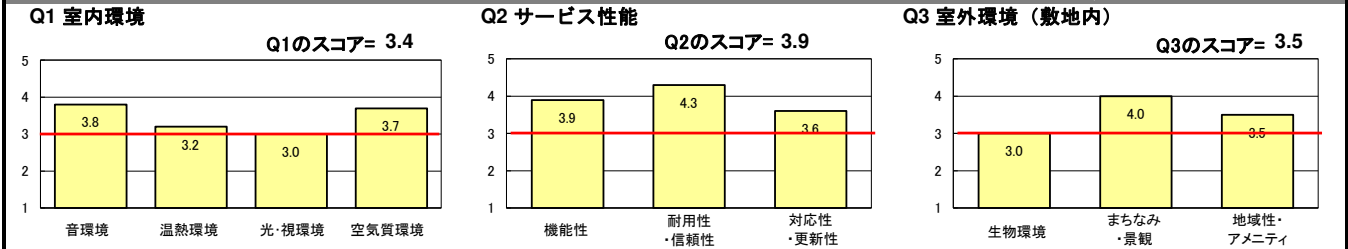


## 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

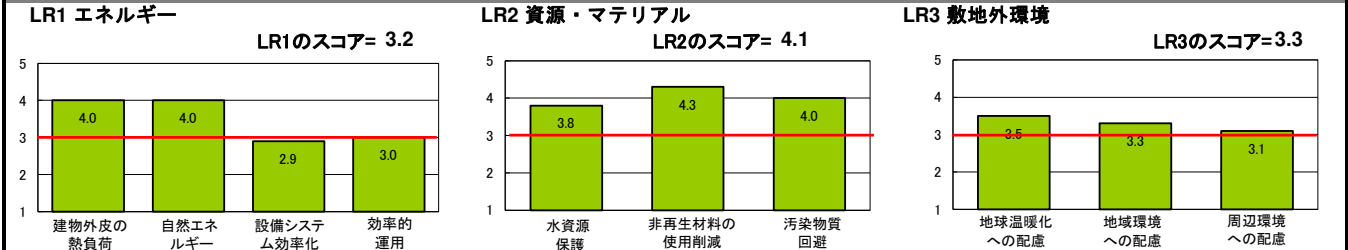


## 2-4 中項目の評価(バーチャート)

### Q 環境品質



### LR 環境負荷低減性



## 3 設計上の配慮事項

<b>総合</b> 省エネ基準を満たした建物であり、制震や節水の各要素を取り入れている。		<b>その他</b> 特に無し
<b>Q1 室内環境</b> 建物内には光庭を設け、事務室の照明については初期照度補正機能を採用することで、昼光の積極的利用を図った。	<b>Q2 サービス性能</b> 階高は高く計画することで、将来の用途変更等にフレキシブルに対応できるように配慮した。また、長期に建物を使用するにあたり、維持管理が容易な部材選定及び室の配置計画を行った。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 植栽は敷地内に可能な限り計画した。また、建物は周囲に圧迫感を与えないように道路から距離を設けて計画し、室外機は排熱に考慮し、大半を屋上に設けた。
<b>LR1 エネルギー</b> 空調熱源として地域冷暖房方式を採用し、BEMSと組合せることで、エネルギーの「見える化」を図った。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 建築部材は特定調達品目及びエコマーク商品を積極的に採用し、節水にも配慮した設備を取り入れることで、環境負荷の低減を図った。	<b>LR3 敷地外環境</b> 建設に伴って発生するCO <sub>2</sub> の発生量を低く抑えることで、地球温暖化に配慮した。また、大気汚染防止に寄与する機器の選定を行った。

## 建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 1.8

ラベル表示



環境性能	評価点
(1)CO2削減	4.0
CO2削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮
配慮事項	LCCO2:85%

環境性能	評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策	3.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能	概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出
Q3 / 3 /3.2/	敷地内温熱環境の向上
LR3/ 2 /2.2/	温熱環境悪化の改善
配慮事項	敷地内には可能な限り緑化を計画した。

環境性能	評価点
(3)建物の断熱性	4.0
CO2削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制
配慮事項	BPI <sub>m</sub> =0.90

環境性能	評価点
(4)エネルギー削減	3.0
CO2削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化
配慮事項	BEI <sub>m</sub> =0.82

## 省エネルギー基準計算結果

基準  
適合状況

適合

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること  
 ※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEI<sub>m</sub>が1.0以下であること(新築時)  
 (基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEI<sub>m</sub>が1.0以下であること)

外皮性能	住宅部分 (品確法等級) - (相当)	非住宅部分[BPI][BPI <sub>m</sub> ] 0.90
一次エネルギー消費量	建物全体[BEI][BEI <sub>m</sub> ] 0.82	住宅部分[BEI] - 非住宅部分[BEI][BEI <sub>m</sub> ] 0.82